

## 第8回鳥取支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構米子医療センター院長 濱副隆一



会場風景

日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会を2011年9月3日(土)に開催いたしました。鳥取県全域を直撃した台風12号により、JRも一日中ストップしたにもかかわらず、鳥取県

全域から約240名(スタッフ含む)も参加して頂きました。

今回の日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会ではメインテーマに「チーム医療と人材育成」を掲げ、シンポジウムには「チーム医療における薬剤師の役割」、パネルディスカッションには「新人看護師の育成と課題 ～学校と臨床をつなぐ～」を取り上げ充実した内容で報告されました。

さらに特別講演では、「地域医療に求められるチーム医療のあり方」と題して鳥取大学医学部地域医療学講座の谷口晋一教授にご講演を頂き、大鵬薬品工業株式会社協賛によるランチョンセミナーは鳥取県臓器バンク臓器移植コーディネーターの永栄幸子先生をお迎えし「チームで成り立つ移植医療」についてご講演を頂きました。

また、指定演題を除いた応募演題は56演題でありましたが、台風到来によりJRが1日中ストップしたため10題が中止になり、46題が発表されました。

本学術集会に参加された皆様には、医療マネジメントに関する様々な取り組みや問題点について活発に討議いただき、実りの多い学会になりました。

鳥取県支部の役員の皆様、関係者の皆様方のご支援とご協力に深く感謝申し上げます。

## 第7回広島支部学術集会

支部長：広島県病院事業管理者 大濱紘三

2011年9月3日(土)に広島市立広島市民病院にて開催致しました。「地域医療再生を考える」をテーマに、96名のご参加を頂きました。講演者として、山形大学大学院医学系研究科生命環境医科学専攻医療政策学講座教授 村上正泰先生と鳥根県病院事業管理者全国自治体病院協議会副会長 中川正久先生をお招きしました。村上先生のご講演では「わが国の医療政策の展望：一体改革に対する評価と同時改定の見直し」と題して、我が国の医療制度の課題から日本の総医療費、負担率、病院病床数の比較などについてお話をされました。また、比較として日本は、医師数、メディカル等病院従事者ともに国際的にみてかなり低い水準であり、医療現場は深刻なマンパワー不足であるという内容でした。中川先生のご講演では「地域医療ネットワー

クの現状と展望」と題して、始めに、鳥根県の医療の現状について御講演をされました。地域医療連携を構築するために情報の連携はどうあるべきか、全国連携に向けての医療ネットワークインフラの構築、鳥根県での取り組みが課題解決の糸口になるように期待したいといった内容でした。最後にご協力、ご支援頂きました皆様に感謝を申し上げ開催報告をさせていただきます。

## 第9回岡山県支部学術集会

学術集会会長：津山中央病院病院長 藤木茂篤

2011年9月10日(土)、津山中央病院を会場に、第9回岡山県支部学術集会を開催いたしました。おかげさまで、参加者292名と盛況な会となりました。



会場風景

さて、今回は『患者満足の追求』をテーマとさせて頂きました。医療の原点は患者さんへの厚い思いだと考えます。今回、この厚い思いについて、岡山県の本学会会員の皆さんと一緒に考えたいと思いテーマに選びました。

シンポジウムでは岡山県内の病院初のコンシェルジュ、金田病院の細田 麻衣子女史をはじめ4人のシンポジストに、それぞれ医師、看護師、事務の立場からお話いただき、熱心なディスカッションとなりました。

特別講演では、様々な分野で先進的な試みを成功させておられますトヨタ記念病院の稲垣春夫院長に「利用される方々の笑顔が私たちの誇りです」と題してご講演いただきました。トヨタ記念病院の取り組みは、まさに目から鱗が落ちる思いでありました。

さて、もう1つの特別講演は、宇田川家、箕作家といった洋学の大家を輩出した津山という町にちなみ、津山洋学資料館 下山純正館長に「近代医学の発展に貢献した津山の洋学者について」題してご講演いただきました。

ランチョンセミナーでは武田薬品工業株式会社協賛で、鳥根大学医学部精神医学講座 堀口 淳教授に「見逃しておく怖い睡眠障害 ～知っておきたい知識や治療のコツ～」をご講演いただきました。

もう一つのランチョンセミナーは先般2月に当院で行われました脳死下臓器提供の顛末をノバルティスファーマ社協賛で、事務サイドより発表いたしました。

最後に、本会が成功裏に終了することができたことは、ひとえに岡山県北部の医療機関、岡山県支部のプログラム委員をはじめとする関係者のご支援の賜物と心より感謝申し上げます、開催の報告とさせていただきます。